

みんなが主役！「福井しあわせ元気国体」

平成30（2018）年に本県で開催予定の「第73回国民体育大会」。「一県民一参加」、「一県民一スポーツ」、「一県民一自慢」で、「スポーツの感動を広め、未来へつなげる」ことができるよう、開催に向けた準備を着実に進めています。

福井国体 大会愛称・スローガン選定結果

大会愛称 「福井しあわせ元気国体」

趣旨および選定理由 幸福度日本一といわれる福井県で、県民の元氣と創意を結集し、しあわせを感じ、元氣があふれる国体を創り上げます。県民みんなで全国からの参加者を温もりの心でもてなし、交流を通じて、しあわせと元氣を全国に発信します。

最優秀賞 仲橋 祥子さん(福井市)・安野 泉さん(坂井市)

スローガン 「織りなそう 力と技と美しさ」

趣旨および選定理由 選手は持てる力と技と美しさを、福井県が誇る織物のようにタテ糸とヨコ糸に織りなし、競技に全力を尽くします。県民一人ひとり「する」「みる」「支える」のそれぞれの立場で国体に主体的に参画します。これにより相互につながりを深め、みんなで感動を共有できる国体にしよう、という想いを込めています。

最優秀賞 小森 通子さん(福井市)

50年ぶりの福井国体

国民体育大会(国体)は、毎年開催されている国内最大のスポーツの祭典です。陸上競技や水泳などが行われる「本大会」と、スキーやスケートなどが行われる「冬季大会」があり、男女総合成績1位の「天皇杯」、女子総合成績1位の「皇后杯」の獲得



自転車競技で優勝するなど昨年の「ぎふ清流国体」では本県勢が大健闘し天皇杯24位を獲得

を目指して、各都道府県の代表選手が熱い戦いを繰り広げます。

平成30年の「第73回国体(本大会)」は、昭和43(1968)年以来、福井県で50年ぶりの開催となります。

開催準備を本格化

福井国体の開催に向け、県では、関係団体などとの連携のもと、平成22年に国体県準備委員会を設立。「スポーツの感動を広め、未来へつなげる」を基本目標に定めるなど、準備を本格化させました。

また、延べ約1万5千点の応募作品をもとに、大会愛称とスローガンを決定。今後は、マスコットキャラクター

の制定や、県内の学校、市町の庁舎への広報用横断幕の掲出などを通して、県民の皆さんに、より一層国体について知っていただくよう努めていきます。

全市町が競技会場地に

国体では、37の正式競技が行われます。これに加え、福井国体では、特別競技としての高校野球と、綱引など4つの公開競技が行われます。

加えて、本県発祥のニュースポーツをはじめ、さまざまなスポーツやレクリエーションに、県民の皆さんが参加できるデモンストレーションスポーツの実施も検討しています。

競技力向上を推進

また、会場地については、県内すべての市町で正式競技と特別競技、公開競技の合計41競技・48種目が、県外で正式2競技・4種目の開催が決定(次ページ参照)。今後は、各市町や競技団体と連携しながら、会場地市町における盛り上げや、競技の定着を図っていきます。

競技会場等を整備

県では、国体の競技会場や選手強化の拠点となる福井運動公園(福井市)の整備に着手。国体基準や老朽化、荒天時の開・閉会式会場の確保等を考慮し、体育館を現所在地に新築するほか、陸上競技場などの他の施設は、現在ある施設を活用し、リフレッシュ工事を行っていきます。

加えて、今年度は新たに、市町が行う競技会場の整備に対する支援制度を創設。計画的な施設整備を応援していきます。



ロンドン五輪に出場した中野希望(のぞみ)選手によるフェンシング教室

福井国体に向けて、選手強化にも力を入れています。5年後の福井国体で活躍が期待できる小学生から高校生を強化選手に認定し、重点的な強化を行っていくとともに、全国トップクラスの指導者による実戦指導や、これまで入賞実績の少ない種目に対する実戦練習を充実していきます。

開催への気運を高める

何十万人もの人々の来県が見込まれる福井国体では、選手の応援や、運営ボランティアなど、さまざまな場面で、県民の皆さんの力が必要となります。スポーツを「する」「みる」「支える」のそれぞれの立場で、県民一人ひとりが創り、楽しむ、福井らしさあふれる大会を目指します。



子どもたちがさまざまなスポーツを体験するイベントを開催

そこで、「一県民一自慢」を

スポーツ文化を定着

福井国体をきっかけに、選手だけでなく、県民一人ひとりが、生活の中にスポーツを取り入れる「一県民一スポーツ」の浸透を目指しています。

皆さんも、年齢や能力、好みに合ったスポーツ、ボランティアを見つけてください。そして、皆さんにとって価値のある国体となるよう、一緒に取り組んでいきましょう。

◎新国体推進課

☎0776-200772

知事コラム



福井県知事 西川 一誠

平成30年の福井国体では、本県のスポーツの発展はもちろん、県民の皆さん一人ひとりが「創り、楽しむ」、福井ならではの心の込めた大会を目指しています。

選手の皆さんが大いに活躍し、県内外の参加者同士が交流を深めながら、福井の魅力存分にアピールできる国体となるよう、今後もしっかりと準備を進めていきます。

本県らしい国体にふさわしい愛称とスローガンも決まりました。開催に向け、ますます気運を高めていきたいと考えています。皆さんの積極的な参加をお願いします。